

発行所
大阪市阿倍野区阪南町
大阪府立
阿部野高等学校新聞部
編集兼発行人
川下三郎

今日第四回卒業式舉行



みな先生の任校中校内でも校外でも実にさまざまなお話が多くなりました。悲しいことが多くある世界、風当りは相当に強く、却つて苦しいことが多からうといわれていますが、今まで

学 校 長
志 賀 平

て、私たち教師には戦後の苦難
の途程共に歩んで来たという
思いが、印象さかしく旧制度最
後のオトンボともいいたい。調整
ばかりの方々であります。
元気で、心身ともに充分に発達
して卒業されることは、何とし
ても自業自得であります。
どうも各自の志す方へ立派にし
てゆかれるよう希望いたし
ます。

どうぞ皆さんが今後元気に活
躍奮闘されることを祈ります。
祈ります。

中本・田中・山口の三名に

きよう晴れの第四回卒業式に本校 与される。

では大阪府教育委員より表彰されるのは中大臣吉田中秀吉君山口純子さんで中本君は善行賞を授与され田中君は体操部として山口さんの卓球部としてそれぞれ幾多の好成績を修めた事により体育賞が授けられる。

證書受賞代表は村井さん
きょう隔れの卒業式に於ける卒業証書受贈者代表は去る二月十四日の教員会議により次の如く決定した。

卒業証書受賞代表 村井千鶴子
受賞される。表彰を受ける功労者十一名運動クラブに十五名の人に慣例の卒業生の自決会並びにクラブ功労者の表彰は十六年度後段会長として功績を残した尾屋君の下自覚に十五名、文化クラブに十一名運動クラブに十五名の人に

光隆等の如し。今日ここに本校第四回卒業生約四百名が元氣に母校阿部野高校を巣立つて行く。今回の卒業生は昭和二十三年四月、終戦直後の混沌たる社会状況の中に一沫の不安と希望と胸ときめかせつて、本校の前身阿部野高女及び住吉中学校に旧学制の最終八等考とした人達であるといゆる六、五制の最終段階の人達なのであり、それらの人々の今回の卒業は加えて名残り惜しく、又養育者のものといわねばならぬ。

顧みれば、併三より高校科課程に三年間、その間の我が国社会状況は是にめまぐるしい変遷があつた。全くそれと同様に、て彼等自身の歩んだ苦難の道は新六、三制への転換の過渡期であつた。終戦後の社会不安でもあつた。新制中学、新制高校、新制大学等々新制なる二文字を一つの具體的なものとして形づけるに如何に困難なるや、又その業績の如何に偉大なるやを計り知ることには出来ない。

昨年度の卒業生が本校の興隆を

法經文科は狹き門

先日二十一日から露明けした東京
なる全国二十八国立大学と一部公
立大学等の第一期入試の願書受付
けは十五日締切られ、まことに春は
試験地獄からの感を呈し、本校第
四回卒業生中受験者三二一名であ
るが、受験者数を志望校別に記す
と(含、第一次第二次等)
市立大学 一〇二、大阪大学
八三、関西学院大学 六七、大

阪外国語大学 三九、和歌山大学 三〇、
学 三五、同志社大学 三、
早稲田大学 二九、浪速大学
二八、関西大学 二五、大阪学
芸大学 二四、京都大学 二三、
神戸大学 二二、慶応大学 一
一、神戸商科大学 一五、大阪
女子大学 一三、帝京山短期大
学 一一、大阪薬科大学 一〇、
関西学院短期大学 七、大谷短

就職決定六十三名

本校卒業生三百九十一名中就職する者百二十三名であるがその内女子が百八名で大部分をしめており、すでに新卒業生六十三名、旧卒業生三名の就定しており、九月にトツ

日の後、二學入式の後、白子大學(四)・由良大學

iii

[illegible]

清

長谷川大	四天王寺高	三八	以上の通り、
女大、大	五住吉高	二九	立の高等学校
大阪	六北野高	二五	二〇三
女子大	七枚畚高	二二	五八
学院、甲	七阿部野高	二二	六五
	九布施高	一八	六八
			二七

の各高校は、

ヒデます。

水景印鑑在校生より贈呈
去る四月の予饗会にて本校卒業生
に水晶印鑑三百九十一個(四万二

針の穴

居ります（但し有料）お申し
みの方は、主査部員又は部室ま

卒業生ベン

クラフ結成

加して以来、部因

ンクラブの結成の氣運が高ま
り、遂にきよしの発会式にまで
達した。

つた。

部部高文化活動の先端を行く新
部に今までこのような組織の
なかつたことはむしろ不思議な

来れば幸いと想ひて

会則等細い点に渡つては三月
第二回総会の席上決定される
クラブ員資格は新聞部卒業生
とされるものである。

清水谷高一七

一池田高	一五	六九	二三
一大手前高	一五	六四	二三

八富田林高二

八今宮高 二 七二 一五
十八河南高
一〇三三

☆
☆

上の通り、本校は数ある大阪府の高等学校中第七位を獲得した。高等女学校から転身した高校では、名家高女と共に第一位を

各高校は、もとの

(教務Y生)

辛かつた同居生活

当時の校舎問題の真逆は全く陪胆たるものがあリ、運動に於ける出場の勝敗に練習不足が大きく影響したのはこのためでもあつた。しかし当時軟屋の田中信子選手他卓が、この年秋居の学生生活に大に不便があつた。この選挙には最難關の「女性格的だ」とその一言通りに校の男生徒がいかに女生徒に対し會計に佐藤敬郎君、学年代表は、櫻谷君、佐野和子さんが成り、万

結ばれた三年生の置土産

自治會會則改正成る

昭和二十四年十二月、修正発効された自治会々則は過去二年有余守られて来たがその間致々の欠点、矛盾が見い出され、不満が生じて来ることが今回ここに最終決定を見るに至つた。

過去二年間に於き幾度友会を重ね毎回激論を戦ひ昨年九月より修正にのり出したが、それ等は各クラス議員を通じて改正箇所を選出し執行委員会がこれをまとめ再議決を現行、或は除去の方法で賛否をとり一心決定した形となり、

改正案を作成し一月二十四日第一回緊急議会議に提案された、続いて第十二回十三回十四回の三回に渡る流会の後二年生のある議員の熱心な努力により漸く二月一日第十五回の緊急議議会が成立した。これは、二年全議員の出席を以つても定数に満たず、止むを得ない。

試験中の三年議員の出席を願つた翌三日第十六回緊急議議会も同様に成立し、献身的な三年議員の努力を合議員の協力も身をむけ、多数の賛同を得成りしたのである。

今回のことに最終決定をみるに至つたのである。

今回決定された改則には生徒大会の解散、及び執行委員について細かな規定、特に会計に於いては細則を設ける等以前とは異つた特徴を持つてゐる。

この会則に対して自治会員の賛同を得る為の調査は去る二月六日、各ホーム・ルームにて行われ大多数の賛同を得成りしたのである。

「住吉大社神代記」を寄贈さる

元本校田中卓先生



渋谷和一君（新聞）
新聞部に入つて約三年、常に新

対し、ぼされた功績は、切
 ものである。鉄合さんがか
 びつたりと本分
 又、派な事業を重ねた
 れは、鉄合さんの性格を
 感ずるに、鋭敏であり、物
 断力、断行力が大き
 誰しも親しめる性格を持
 たからでしょう。その上
 ことに常に親しみをあ
 温純な性格が常務員をり
 たことが大きなプラスとな
 思います。今後の鉄合さん
 功と御健康を心から祈りま

(津田教諭)

彼の精進に期待

田中秀治君(体操)

あの肩、あの腕
あの胸、器械体

「選手として申し
い休格をそなえた彼が何故
国体選手として出場し得ず
となつたか私は不思議に思
には馴れよ」と言う言葉が

精進をみる時必ず実を結
時代がやがて来るだろう
期待している（安永教諭）
理想を指摘する

人間がひたすらに自己の道に歩むことは、
思ふとすれば、道を歩んでゐるのやうに
は、まことに、側からみて
ると美しきを感じてゐる中村君は、
一吾もの一人だ。彼は、
劇の道にかけては何人にも
劣らぬ識見と学識をもつて
おり、生活の場において
え、絶えず心にくいま
劇的効果のある言動にみ
談しては、その動の鋭い諷刺
この心を感じるであつた。
の止中村君の将来に於て
は、囑である。

かくて二十五年度は過ぎ、
面復席と共に最高学年のバ
ッを受けて意気揚々として新學
年の最後の活躍が期待さ
れる。彼等の中から誰

受難勉強に迫られたとは、學校を始め下級生に大いに代表の多田、水野代表の御た程度であつた。津田君は合格点三〇〇点以上五十五点以上、學力の方面には模範同上的途にあるが、昨年夏に夏期に於ける就

本年の女性多し？

本校への志望者

本年度の公立高校生入試の受験願書の所では、募集人員を僅かに越
受付け、後数日に倉公立高校へ齊
に学区制を採用して各学校毎に開
始されるが、本校募集人員は昨年
度と同じく三百五十名である。
次の表は各中学校に於ける大体の
見込である。

居る居る本変主

健全娯楽？のパチンコ屋

子供の玩具であつたパチンコが、大抵のパチンコ狂連に親しまれる。このようにパチンコが産む勢力为全国に拡がり、全国津々浦々にパチンコ族が繁栄し益々その配当率が良くなつたと又文二「ル」式が考案されて機械が小川で浜山操作出来るようになつて且つ一台五千円の機械と改装入れても二月度で元がとれるものがその原因らしい。

このような遊び道具があつても賞品のキヤラメルなどがあふ……では子供達がこれを親にしてそれが問題となつて新聞や教育界に於いて反省をうかう最近阿倍野区の小学生代表として幣上「出来なものしか

危機に瀕する体育後援會

困難視さる今後の活動

期末考查六日より

三月行事象定

三月(月)	入学願書受付
五日(水)	代休
六日(木)	一、二年考査
七日(金)	同
八日(土)	同入學願書締
十七日(月)	終業式(午前時)
二〇日(木)	入学考査
二四日(月)	入学試験者募集
二五日(火)	(午前十時)合格者発表 (正午十時)入

長倉君
渡米本決り

本紙既報の如く、現三年六組の
倉倉吉右は手続の關係で渡米留
が遲れてゐたが、すでにパスポ
ートも交付されており、少くとも
月足には渡米する運びとなつた
。渡米後の長倉君はワシントン州

(伴)